

平成28年度行政事業レビューシート (復興庁)

| | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|------------------------|---------|-------------------|---|------|--------|--------------|--------------|
| 事業名 | 「新しい東北」先導モデル事業 | | | 担当部局庁 | 復興庁 | | | 作成責任者 | |
| 事業開始年度 | 平成25年度 | 事業終了(予定)年度 | 平成27年度 | 担当課室 | 統括官付参事官(総合政策担当) | | | 参事官 久保田 誉 | |
| 会計区分 | 東日本大震災復興特別会計 | | | | | | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | - | | | 関係する計画、通知等 | 「新しい東北」の創造に向けて(提言)(平成26年4月18日復興推進委員会) 平成28年度以降の復旧・復興事業について(平成27年6月24日復興推進会議決定) | | | | |
| 主要政策・施策 | - | | | 主要経費 | その他の事項経費 | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 人口減少、高齢化、産業の空洞化等の従来からの課題を抱えたままの復旧ではなく、復興を契機にこれらの課題を克服し、我が国や世界のモデルとなる創造と可能性の地としての「新しい東北」を創りあげることが必要であり、被災地で芽生えている先進事例をしっかりと後押しし、「新しい東北」に向けた地域の取組を加速化することを目的とする。 | | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | <p>○ 「新しい東北」の実現に向け、被災地で既に芽生えている先進事例を育て、横展開を進め、東北、ひいては日本のモデルとしていくため、被災地の住民や団体の発意により、「新しい東北」に資する先導的な幅広い取組みを公募し、支援する『「新しい東北」先導モデル事業』を実施。</p> <p>○ プロジェクトの立ち上がり段階における、専門家派遣や実証事業、関係者の合意形成など、ソフト分野を中心に、様々な取組みを包括的に支援。</p> <p>○ 平成27年度は、5分野(「子どもの成長」「高齢社会」「エネルギー」「社会基盤」「地域資源」)に関するプロジェクトや、「新しい東北」の実現に向けて、新たな取組・事業を実施する者を支援する取組の提案(リーダーとなる人材の育成・確保、起業・新事業の創出に向けた支援、コミュニティ活動の立ち上げに向けた支援、被災地事業者の販路開拓の支援、被災地事業者の経営改善に向けた支援等)を対象とする。</p> | | | | | | | | |
| 実施方法 | 委託・請負 | | | | | | | | |
| 予算額・執行額 (単位:百万円) | | | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度要求 | | |
| | 予算 の 状 況 | 当初予算 | (900) | 1,483 | 830 | - | - | | |
| | | 補正予算 | - | - | - | - | - | | |
| | | 前年度から繰越し | - | - | - | - | - | | |
| | | 翌年度へ繰越し | - | - | - | - | - | | |
| | | 予備費等 | - | - | - | - | - | | |
| | 計 | 900 | 1,483 | 830 | 0 | 0 | | | |
| 執行額 | 811 | 1,367 | 694 | - | | - | | | |
| 執行率 (%) | (90%) | 92% | 84% | - | | - | | | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 中間目標 年度 | 目標最終年度 年度 |
| | 各年度において成果目標(案件ごとに設定)が達成された案件の割合が100%となること | 成果目標(案件ごとに設定)が達成された案件数 | 成果実績 | 件 | - | 88 | 31 | - | - |
| | | | 目標値 | 件 | - | 95 | 55 | - | - |
| | | | 達成度 | % | - | 93 | 56 | - | - |

| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度活動見込 | | | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|--|--------|---|---------|---------|------|----------|--------|----------|--------|---|
| | 仕様書通りに事業が行われた案件数 | 活動実績 | 件 | | | | | | 66 | 95 | 55 | - |
| | | 当初見込み | 件 | | | | | | 66 | 95 | 55 | - |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度活動見込 | | | | |
| | 当初予算／活動実績 | 単位当たりコスト | | | | | | | 12.3 | 14.4 | 15.1 | - |
| | | 計算式 | / | | | | | | 811/66 | 1,367/95 | 830/55 | - |
| 平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円) | 歳出予算目 | 28年度当初予算 | 29年度要求 | 主な増減理由 | | | | | | | | |
| | 復興政策調査費 | - | - | 平成27年度までに支援を実施した取組については徐々に成果がでてきており、今後は成果の普及・展開に重点を置くという観点から、先導モデル事業については廃止。(平成28年度以降においては、官民連携推進協議会運営事業により、これらの成果の普及・展開を図る。) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 0 | 0 | | | | | | | | | | |
| 政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係 | 政策 | 復興施策の推進 | | | | | | | | | | |
| | 施策 | (5)「新しい東北」の創造に係る施策の推進 | | | | | | | | | | |
| | 測定指標 | 定量的指標 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 中間目標年度 | 目標年度 | | | |
| | | 「新しい東北」先導モデル事業において成果目標(案件ごとに設定)が達成された案件数 | 実績値 | % | - | 92 | 56 | - | - | | | |
| | | | 目標値 | % | - | 100 | 100 | - | - | | | |
| | 本事業の成果と上位施策・測定指標との関係 | | | | | | | | | | | |
| | 被災地における先進的な取組を加速することにより、「新しい東北」の創造に寄与 | | | | | | | | | | | |
| | 改革項目 | 分野: | | | | | | | | | | |
| | (第一階層) KPI | KPI (第一階層) | | | 単位 | 計画開始時年度 | 27年度 | 28年度 | 中間目標年度 | 目標最終年度 | | |
| | | 成果実績 | | | | | | | | | | |
| 目標値 | | | | | | | | | | | | |
| (第二階層) KPI | KPI (第二階層) | | | 単位 | 計画開始時年度 | 27年度 | 28年度 | 中間目標年度 | 目標最終年度 | | | |
| | 成果実績 | | | | | | | | | | | |
| | 目標値 | | | | | | | | | | | |
| 本事業の成果と改革項目・KPIとの関係 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

| 事業所管部局による点検・改善 | | | |
|------------------------------|--|---|--|
| | 項目 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 国費投入の必要性 | 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ | 経済財政運営と改革の基本方針2014(平成26年6月24日閣議決定)において、「人口減少・高齢化が進む中で地域社会の在り方を最も鋭く問題提起しているのが、東日本大震災の被災地であり、復興を単なる原状復帰にとどめるのではなく、震災復興を契機として、人口減少、高齢化、産業の空洞化といった日本全国の地域社会が抱える問題を解決し、我が国や世界のモデルとなる『創造と可能性のある未来社会』としての『新しい東北』の創造に向けて、先進的な取組を加速化することは重要」と言及されている。 |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | 復興の加速化のためには、被災地で既に芽生えている先行事例を育て、横展開を進め、東北、ひいては日本のモデルにしていく必要がある。このため国が事業を行う事が適当と考えられる。 |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ | 経済財政運営と改革の基本方針2014(平成26年6月24日閣議決定)において、「人口減少・高齢化が進む中で地域社会の在り方を最も鋭く問題提起しているのが、東日本大震災の被災地であり、復興を単なる原状復帰にとどめるのではなく、震災復興を契機として、人口減少、高齢化、産業の空洞化といった日本全国の地域社会が抱える問題を解決し、我が国や世界のモデルとなる『創造と可能性のある未来社会』としての『新しい東北』の創造に向けて、先進的な取組を加速化することは重要」と言及されている。 |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ | |
| | 一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 有 | 支援対象とする事業については、以下の選定基準(※)に基づき復興推進委員等の有識者の御意見を踏まえて審査・選定。 ※選定基準 ①先導性・モデル性、②持続性、③相乗効果・波及効果、④主体性、⑤計画性・実現可能性、⑥効率性 |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 無 | なお、「新しい東北」先導モデル事業運営補助事業については、一者応札であった。 |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○ | 受益者との負担関係についても、民間の先進的な手法を最大限活用し、復興を加速化させるという目的であることから、妥当であると判断している。 |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ | 他省庁における同趣旨の先行事例(モデル事業)と比較しても妥当な水準と判断している。 |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | - | 中間段階での支出はない。 |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ | 案件ごとに、提案内容について復興推進委員等有識者の御意見(国費投入の是非等)を踏まえて精査を行った上で契約を締結している。 |
| 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | 不用率は大きくない。 | |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | ○ | 支援対象とする事業を選定するにあたっての基準には、効率性が含まれており、提案内容について復興推進委員等有識者の御意見を踏まえて精査を行った上で契約を締結している。 | |
| 事業の有効性 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | ○ | 平成27年度までについては、多くの案件について成果目標が達成されている。 |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | ○ | 普及・展開に資する先導的なノウハウ等の構築を短期間で実施するためには、プロジェクトの立ち上がり段階における事業費の支援が重要。なお、単位当たりコストについても他省庁における同趣旨の先行事例(モデル事業)と比較して妥当な水準と判断している。 |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ | 平成27年度までについては、見込み通りの活動実績となっている。 |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ | 年度末の事業報告については、復興推進委員等の有識者の御意見を踏まえて評価するとともに、評価結果の概要は、復興庁のHPで公表。 また、モデル事業の成果については、官民連携推進協議会の「交流会」等の場で情報共有。 |

| | | | | | | | |
|---|---|--|---------|--------|------|--|--|
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) | | | | | | |
| | 所管府省・部局名 | 事業番号 | 事業名 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 「新しい東北」の実現に向けた被災地の主体的な復興の取組を推進し、復興を加速化させるとともに、我が国や世界のモデルとなる「創造と可能性のある未来社会」の形成を促進するために必要な経費である。 | | | | | |
| | 改善の方向性 | 本事業は、平成27年度で終了した。 | | | | | |
| 外部有識者の所見 | | | | | | | |
| 成果目標とその達成状況について分析した上で、本事業により得られた成果の活用が進むよう、官民連携推進協議会運営事業にしっかり引き継ぐこと。 | | | | | | | |
| 行政事業レビュー推進チームの所見 | | | | | | | |
| 終了予定 | 当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用していくこと。 | | | | | | |
| 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 | | | | | | | |
| 予定通り終了 | 本事業で得た知見は「新しい東北」官民連携推進協議会運営事業に引き継ぎ、「新しい東北」の実現に向けた復興の取組を推進し、復興を加速化させていく。 | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 平成25年度においては、東日本大震災復興調整費を活用して、66件の案件を支援。全件について仕様書通りに事業が行われた。(一方で、定量的な目標を当初設定していなかったため、成果実績を記載することは出来ない。) 平成26年度においては、被災地で事業展開されている多様な主体(企業・大学・NPO等)による取組について、情報の共有・交換を進め、様々な連携を推進する「新しい東北」官民連携推進協議会を運営する費用も本事業費から支出(平成27年度は「新しい東北」官民連携推進協議会運営事業(新27-002)として実施)。 | | | | | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | | | | | |
| 平成22年度 | - | 平成23年度 | - | 平成24年度 | - | | |
| 平成25年度 | 新26-004 | 平成26年度 | 新26-001 | 平成27年度 | 0007 | | |
| 資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円) | ※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 | | | | | | |
| | <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[復興庁] -- "【公募・選定】" --> B["A.「先導モデル事業」で選定された民間事業者 (55事業者) 約647百万円 ※契約金額ベース"] A -- "【公募・選定】" --> C["B.民間事業者 (「新しい東北」先導モデル事業運営補助) 約32百万円"] A -- "【公募・選定】" --> D["C.民間事業者 (東北観光振興調査・検討業務) 約15百万円"] </pre> </div> | | | | | | |

| 費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載) | A.東北海外展開加速化協議会 | | | B.株式会社日本経済研究所 | | |
|--|----------------|-----------------------------------|-------------|---------------|---------------------------|-------------|
| | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | 事業費 | 「新しい東北」先導モデル事業(東北発!海外展開加速化プロジェクト) | 30 | 事業費 | 「新しい東北」先導モデル事業運営補助事業に係る費用 | 32 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 計 | | 30 | 計 | | 32 |
| | C.アクセンチュア株式会社 | | | D. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | |
| 事業費 | 東北観光振興調査・検討業務 | 15 | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 計 | | 15 | 計 | | 0 | |

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|------------------------------|---------------|---|--------------|----------------|----------------|------|---|
| 1 | 東北海外展開加速協議会 | | SNSやE-commerceなどを通してEU・アジア圏の消費者の志向を調査するとともに、東北の生産者・事業者が輸出に取り組む上で障害となっている物流体制と決済機能を整備。 | 30 | 随意契約 (企画競争) | 198 | 100% | |
| 2 | 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター | 8370005001866 | 持続可能な「地域包括ケアシステム」の一翼を担う、住民の主体的な支え合い活動や生活支援サービス事業の立ち上げを後押しするとともに、新たな活動分野の開拓を進める。 | 29 | 随意契約 (企画競争) | 198 | 100% | |
| 3 | 株式会社ダイヤモンド・ビッグ社 | 2010401037613 | 「日本酒酒蔵と温泉」を組み合わせた訪日個人旅行者向け着地型旅行商品の造成を支援するとともに、地域発の着地型旅行商品を旅行者に直接販売をする機会を提供。 | 26 | 随意契約 (企画競争) | 198 | 100% | |
| 4 | 日本百貨店協会 | | 百貨店OBや現役バイヤーの知識・情報力を活かし東北地方の産品を発掘。販路拡大に向けた商品開発アドバイスと、商品商談会を開催し、被災地の中小企業と協働して、全国の百貨店から東北の魅力を発信。 | 26 | 随意契約 (企画競争) | 198 | 100% | |
| 5 | 株式会社オリコム | 1010401006924 | 東北3県におけるインバウンドの推進・発展のため、対象県内の中小事業者の免税店化を支援し、免税店舗数の拡大を目指す。さらに、免税店から得られる購買データや、WEBを活用した販売支援を行う。 | 25 | 随意契約 (企画競争) | 198 | 100% | |
| 6 | 一般社団法人東の食の会 | 5011005003453 | 民間企業・行政・NPO・生産者等各分野における産業復興のキーパーソンが集い、課題や成功事例を共有した上で産業復興の課題に対するアクションを生み出す「東の食の実行会議」の開催及びアクションのフォローアップを実施。 | 23 | 随意契約 (企画競争) | 198 | 100% | |
| 7 | 特定非営利活動法人エディック | 8011005001090 | 企業リソースを活かした支援事例の国内外調査や企業による継続した地域への関わり方のモデル作り等を実施。 | 20 | 随意契約 (企画競争) | 198 | 100% | |
| 8 | 株式会社博報堂 | 8010401024011 | 包装容器メーカーが共創プロジェクトを通じて東北の生産・加工事業者の人材育成に貢献しながら生活者の「新たな消費体験」を実現する新しい商品や流通サービスのビジネスモデルを開発。 | 20 | 随意契約 (企画競争) | 198 | 100% | |

| | | | | | | | | |
|----|----------------|---------------|--|----|----------------|-----|------|--|
| 9 | 宮城県産地魚市場協会 | | 震災により失われた宮城県産水産物の販路回復を図るため、県内9ヶ所の「産地魚市場」をブランドとして確立し、民間企業と連携して消費者へ発信。 | 19 | 随意契約 (企画競争) | 198 | 100% | |
| 10 | 株式会社 流通戦略総合研究所 | 7010401046881 | 多品種・小ロットという特徴を有する被災地の水産加工物について、マッチングを通じての販路開拓及び物流の効率化に向けたモデル的な取組を実施。 | 18 | 随意契約 (企画競争) | 198 | 100% | |

B

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-------------|---------------|-------------------------|--------------|--------|----------------|-----|---|
| 1 | 株式会社日本経済研究所 | 6010001032853 | 「新しい東北」先導モデル事業の補助業務を行う。 | 32 | 総合評価入札 | 1 | 99% | |

C

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-------------|---------------|-------------------|--------------|----------------|----------------|------|---|
| 1 | アクセンチュア株式会社 | 7010401001556 | 東北観光振興調査・検討業務を行う。 | 15 | 随意契約 (企画競争) | 2 | 100% | |